

# 生駒高校新聞

## 令和新時代の幕開け

校長 森田 茂

平成最後、令和元年度の一学期も終わろうとしています。平成から令和に元号が改められて約二ヶ月半が経ち、令和と言っているうちに、令和と言ったり、令和と書くことにすっかり慣れてしまいました。じきに平成よりも令和のほうが自然でしっくり感じるようになるのだと思います。私が生まれた昭和という元号は、最近では耳にすることも少なくなってきました。

始業式の式辞の中で「令和という文字には平和への願いが込められています。平和な時代がいつまでも続きますように。」という話をしましたが、残念なことに五月には登校途中の小学生や通行人の方が多い殺傷されるという心痛む悲しい事件が発生しました。いっどで事件や事故に巻き込まれるかわからない物騒な世の中です。避難訓練の講習でも触れましたが、「自分の命・自分の身は、自分でしっかりと守る」、これは地震や豪雨といった自然災害だけでなく、事件や事故にも言えることです。大きな災害、事故や怪我といったこともなく、一学期が無事に終わろうとし

ていることを心から嬉しく思います。しかしながら、悲しい出来事ばかりではありません。令和になってからとても心温まる報道もありました。テレビのニュースなどで知っている人も多いと思いますが、親戚の葬儀に参列するために飛行機に乗ろうとしていた沖繩の高校生が、飛行機代に入った財布をなくして空港駅で途方に暮れていました。たまたま通りかかった埼玉県の男性が声をかけて事情を察知し、なんとその場で六万円を貸してくれました。慌てていた高校生は、相手の身元も十分確認しないまま飛行機に乗ってしまいました。男性が埼玉に帰って周囲の人にその話をすると、「騙されたんだよ。」と笑われたそうです。その後、高校生が地元新聞などを通して男性を捜していることを同僚がネットで知り、男性に伝えました。それを聞いた男性は「ずっと信じていました。涙が止まりませんでした。」と感動し、高校生も「将来、この感謝の気持ちを忘れず困っている人に同じような優しさを分け与えられるような大人になりたい。」と話したと

いった内容の報道でした。いくら困って途方に暮れているからといって見ず知らずの人に声をかけ現金を渡すということは、なかなか出来ることではありません。また、財布をなくして途方に暮れ困り果てている時に、見知らぬ人から声をかけられお金を貸していただくということが、高校生にとってどれほど嬉しいことであつたか想像に難くありません。そして相手の名前も連絡先もわからないにもかかわらず、何としても借りたお金を返してお礼を言いたいという一念から八方手を尽くした高校生の行動と誠実な想いにも心が温まります。オレオレ詐欺などの特殊詐欺が横行し、「他人の言うことを信じてはいけません。」「甘い言葉やお金の話は疑ってかかり、詐欺と思いなさい。」といった人間不信を助長するような言葉を耳にすることが多くなった。昨今、それでもやっぱり「人を信じたい。弱い立場の人を助ける。人間同士がお互いに支え合える世の中であってほしい。」という人間本来が持っている心の優しさを想起させる、新しい時代の幕開けに相応しいホットな出来事ではないでしょうか。

そして、令和になってからのニュースでもう一つ、驚きと強い関心を抱いたのが二〇二四年度上期から紙幣が刷新されるという報道発表です。改元と合わせ新時代を思わせる絶好のタイミングであり、格好

の話題でした。一万円札には渋沢栄一、五千円札には津田梅子、千円札には北里柴三郎の肖像画が採用されるそうです。そうそうたる面々ですが、渋沢栄一については、一昨年の卒業式の式辞でも話をしたところですが、日本資本主義の父と言われ、約五百もの会社設立に関わりました。現在の日本の経済的発展も渋沢抜きには語れません。津田梅子は、わずか六歳で岩倉使節団に随行してアメリカに渡り、十一年後に帰国しました。女子教育の先駆者と評価されています。自分の区別ない女子教育を目指して女子英学塾（現在の津田塾大学）の創設者となりました。また、北里柴三郎は日本細菌学の父と言われ、ペスト菌を発見したり、破傷風の治療法を開発するなど、近代医学の発展に大きな足跡を残しました。それぞれの業績である産業の育成、女性の活躍と社会進出、医学・科学技術の発展は現代にも通じる大きな課題です。新しい令和の時代に、日本が抱える様々な課題の解決に向けて、皆さんをはじめ聡明で偉大な人物が次々と登場し、活躍してくれることを期待したいと思います。最後に、二学期始業式に皆さん全員と元気に再会しましょう。

大人になって、「オームの法則」を引張り出してくる日が来ると思わなかった。去年の夏、部活動で部員たちと電子工作をしたときのことだ。電子回路に挟む抵抗の値を求めなければならないのだが、計算を間違えうと機械が壊れてしまうことさえある。私は高校生の時、数学と物理は万年補習組だった。だから、苦手な計算とは最も縁遠いはずの、国語の教員という仕事を選んだ。なのに、なぜ私は今、真夏の教室で計算問題を解いているのだろうか。▼社会は学問でできている。大ヒット映画「君の名は。」が、平安時代の「とりかへばや物語」に着想を得て作られているのは有名な話だが、名作アニメには聖書や古典作品を下敷きにしたものも多い。美容師は薬剤師は家庭科と保健体育と化学実験である。プログラムを組むのに、エラーメッセージはたいいて英語で出る。学校の勉強は役に立たないどころか、思わぬところで使うことだらけなのだ。全ての学びは編み目のように繋がり、人生を下支えするネットとなる。▼大人になり、社会が変わり、思わぬことをやることも、やりたくなくともある。その時の可能性を閉ざさないために、若いうちから広く学んでおくのだ。……という話を子供ながら聞いたはずなのだが、残念ながらそれを実感したのは大人になってからである。ああ、もう少しマジメに勉強してればなあ。そうぼやきながら、部員たちと一緒に学び直す夏が、今年も始まる。



蛙鳴蝉噪

# 新着任の先生方

## 「幸せを感じる時間」っていつ?

新着任の先生方に、「幸せを感じる時間」について教えていただきました。あの先生の意外な一面が分かるかも?ぜひ話しかけてみましょう。

### 高橋 庸子先生/国語

富山に住む甥っ子と一緒に遊んでいる時。年に数回しか会えないので、その成長ぶりに驚かされます。

### 阿部 ひかり先生/国語

生駒市内のカフェ、okajiro.さんでのんびりしながら漢方チャイをいただくのが私のほっとする時間です。

### 近藤 公恵先生/地歴公民

生徒たちが情熱をもって、何かに一生懸命取り組む瞬間に立ち会えたとき。

### 前岡 敦子先生/地歴公民

家で息子たちと、おやつを食べながらテレビを見て笑っているとき。

### 村田 健先生/地歴公民

早起きできたときです!余裕をかましてコーヒーを飲んでいるうちに遅刻しそうになります。

### 杉田 杏奈先生/地歴公民

趣味の神社仏閣巡りで、お線香の匂いをかぎながら、御朱印をいただいているときが、心休まる幸せを感じるときです。

### 菊野 賢先生/数学

甘いコーヒーとドーナツを相棒に

数学と向き合っているとき。もしくはテニスコートにいる時間。

### 松井 孝至先生/数学

仕事が忙しくて、帰ってきたときに、風呂入ってから、ウイスキーを飲みながらゲームをしている時です。

### 伊藤 秀子先生/数学

趣味と実益を兼ねた編み物、縫い物、パズルなどが完成したときです。達成感もあるし。

### 北島 康丞先生/保健体育

家に帰って、家族の顔を見て子供を抱っこした時。

### 谷口 君也先生/保健体育

バスケットゴール(ブリック)を観戦すること!特に子供が活躍したときは最高だ!酒もすすみます。

### 田中 佑先生/英語

「卒業」の日を迎えたとき。

### 田浦 雄太先生/美術

美味しいものを友達と食べる時が、いま一番幸せを感じます。

### 吉田 澄絵先生/養護

のんびり主人とコーヒーを飲みながら週末の予定を考えるとき。



## 生徒会始動

### 高橋 萌花/生徒会長

生徒会会長の高橋萌花です。私は、演説の時に話したように、みなさんにとって、過ごしやすく、生駒高校に来て良かったと思えるようにしたいです。そのためには、生徒みなさんの貴重な意見が必要なんです。みなさんの意見を通して、少しでも良い方向へ改善できるように努めます。

気軽に意見などあれば話してください!

また、文化祭や体育大会といった学校行事も、生徒会の役員や生徒のみなさんと協力して、良い思い出となるようにしていきたいと思っています。

会長として生徒会を引っ張っていく、生徒会の会員とともに、一年間という短い任期ではありますが一生懸命頑張るので、どうぞよろしくお願いします。

### 岡村 紗季/副会長

生徒会副会長の岡村紗季です。生徒会メンバー全員でよりよい学校をつくりあげられるよう、積極的に活動していきたいと思っています。

文化祭などの大きな行事はもちろん、あいさつ運動や募金活動など、学校を明るく出来るコツコツとした活動にも真剣に取り組み、充実した学校生活を送りたいです。

至らないところがあると思いますが、一生懸命努力していきます。よろしくお願いします。

### 尾上 碧/会計

生徒会会計になりました、尾上

## 校外での活動

五月二十二日(水)、一年生の生駒フィールドワークと、二・三年生の校外学習が行われました。クラス毎の活動で、友達同士の仲も一層深まりました。



六月三十日(日)から七月三日(水)、二年生は九州地方に修学旅行に行きました。雨の多い天候でしたが、雨の止み間には屋外での活動もできました。



新聞部では、一緒に新聞を作ってくれる部員をまだまだ募集中です!興味のある人は、顧問の中川先生か竹原先生まで!

制作・編集:新聞部